

水域巡検+ワークショップ2023秋

開催趣旨

木曾川はじめ河川が運搬した土砂が堆積した濃尾平野は傾動運動と地盤沈下により日本最大の海拔ゼロメートル地帯を擁しています。広大な濃尾平野は先人たちの営みで我が国を代表する産業圏となりました。

先人たちの川との関わりが現在の川そのものであり、堤防や氾濫地形にリスクと利用との工夫や苦勞を観ることが出来ます。また木曾川護岸工事唄のような口伝は消えてしまいましたが、現在残されている江戸時代などの過去の文献には「川をめぐる歴史・生業（なりわい）・文化」が記録されています。また地質や浸透流の観点から絶妙な位置や形状を持つ堤防や洗堰といった遺蹟も残されています。

どう考えて、ここに造ったのかを先人から直接聴くことは出来ませんが、往時の人々の工夫や能力を歴史的な過去の文献や遺蹟などから読み取ることは可能です。先人の営みに現在まで積み上げた川との関わりへの到達点として、また後世の人々の一助とするため、歴史学と水工学の視点で川を巡る歴史をテーマ毎に巡検してワークショップを行い、過去と現在の延長線上にある未来の、濃尾平野と河川の将来像についてディスカッションする場を考えます。もって現代社会における災害対応力の向上、将来世代の選択に寄与するものです。

第一部 7:00~11:30 桑名・住吉から堀川・五條橋

濃尾平野・名古屋台地の水域巡検

「木曾川・庄内川・堀川の船旅〈七里の渡し+〉」

第二部 13:00~14:00

Gallery+café blanka

<http://www.blanka.co.jp/>
名古屋市中区丸の内1-12-3

ワークショップ+意見交換

講演 尾田榮章さん（行基さん大感謝祭実行委員会 委員長）

「庄内川・堀川のこと」(仮題)

講演 篠宮雄二さん（中部大学人文学部歴史地理学科 教授）

「城下町名古屋のくらし・文化と堀川」

参加申し込み・問合せ

名古屋水域研究会 尾畑(中部大学工学部 武田研究室) isaobata@isc.chubu.ac.jp

東海歴史資料保全ネットワーク 篠宮(中部大学人文学部 篠宮研究室) yshino@isc.chubu.ac.jp



日時 10月7日(土)

12時から13時

場所 かわのと99

(株)沖正商店

(中区丸の内1-12-8)

五條橋から南に80M



参加希望の方はQRコードから
登録をお願いします



参加協力費

ライフジャケット貸出料500円

小学生は保護者とご参加ください

令和5年10月7日(土)

堀川舟運遺構からの舟遊び

水辺の遺構と街並みを楽しんでみませんか

(巾下橋から錦橋周遊)

堀川は名古屋城の築城資材の運搬のため開削されました。賑やかな川沿いの街は木挽町通と呼ばれて、現在のものづくり産業の礎となりました。沖正商店の建屋(登録地域建造物資産)には荷揚場の時代から残る石積み擁壁があり、木挽町通から河岸へ直接つながる階段と堀川への扉[かわのと]が遺っています。

名古屋水域研究会
meisuiken@gmail.com

雨天・強風時は中止です。名古屋都市センター歴史まちづくり助成により実施します